

ネパール連絡所おたすけ隊活動報告

前号にて既報の通り、4月25日に発生したネパール大地震に際し、国際たすけあいネットでは国際救援機関 AMDA に 300万円の義援金を寄託した。またネパール連絡所においては「おたすけ推進委員会」を結成、「ネパール連絡所おたすけ隊」として地震発生直後から活動を行っており、国際たすけあいネットではその活動を支援している。

今号では「ネパール連絡所おたすけ隊」の様子を、ネパール連絡所上村義治所長の報告を基に現在までの活動、そして今の現地の状況について報告する。

前号でも掲載したように、「ネパール連絡所おたすけ隊」の主な活動としては、現地教友、友人、知人の情報を基にした支援の行き届いていない周辺住民への物資の配布、そのための物資の調達、受け取り、そして仕分けをしている。またミシン等を使っての手作り巾着の救急セット（バンドエイド、ベポラップ等）の作成である。

「おたすけ隊」では現在（8/1）までに、カトマンズ近郊にて救援物資の支給を行ってきた。配布した救援物資は以下のとおりである（数量が確認できているもののみ記載）。

米 1260 キロ、ダル豆 580 キロ、チウラ（干し飯）288 キロ、食用油 170 リットル、塩 100 キロおよび 12 パック、芋 51 キロ、香辛料 28.8 キロ、飲料水 23 箱、砂糖 5 キロ、漬物 1、スナック、圧力鍋 35 個、スチール皿 70 枚、弁当箱 30 個、調理器具 2、中古食器、ブルーシート（大・中・小）310 枚、毛布 124 枚、マットレス 56 枚、スポンジシート 20 枚、じゅうたん 5、トタン板 30 枚、救急セット 761 個、歯ブラシ 639 本、歯磨き粉 196 個、石鹸 324 個、生理用ナプキン 40、マスク 200 個、ハエ取りリボン 127 本、蚊取り線香 35、洗剤 100 パック、水の浄化剤 85 本、消毒芳香剤 15 本、古着 13 袋、タオル 14 枚、軍手 67 組、櫛 3 本、プラスチックマグ 10 個、ほうき 50 本、竹ぼうき 25 本、台車 2 台、文具・巾着セット 50 個、巾着 25 個、長靴 57 足、ブーツ 2 足、蚊帳 64 枚、ペンライト 23 個、貯水タンク（1000 リットル）2、簡易便所 1、一輪車 2 台、水の濾過器 3、ショベル 7 本、薪 2、ビニールひも 1、シャボン玉セット 3、風船 3、ノート、井戸水の供給

おたすけ隊は単に物資を届けるという形だけでなく、喜びを分かちあえることを目標としており、それぞれの場所の様子を確認し、一度訪れた場所にも再訪問し人々に話を聞き、継続した関係、被災者のフォローアップを心掛けている。また新たな救済の声にも柔軟に対応している。

他にもネパール人が主体となり救援活動を行っている団体への物資の委託、医療支援活動を行っているグループの運営手伝い、ヘルスキャンプ（無料巡回治療）、全壊家屋のがれきの撤去、仮設小屋の作成、避難キャンプでの共同調理の手伝いや清掃、またキャンプ地の設備充実（雨水を利用した飲み水の確保）のためのプロジェクトの支援、雨水利用システム（雨樋で水を貯水タンクに貯めて、濾過器を通して飲料水としても利用する）の設置、学校の屋外教室設置手伝い、小児病院での清掃、炊き出し、交流会などを行ってきた。【2面に続く】

【1面の続き】

現在行われている復興支援では、支援物資が公平に分配されず、少ない物資が特定の被災地に偏ってしまう（支持政党などによる）という事態もみられる。また被災証明書の発行が滞り、政府からの一時見舞い金が受け取れないなど、困難な状況にありながらも、がれきの中から使えるものを探し仮設小屋を作るなど、力強く立ち上がろうとする人々の姿がネパール連絡所上村所長の報告から伺い知れた。

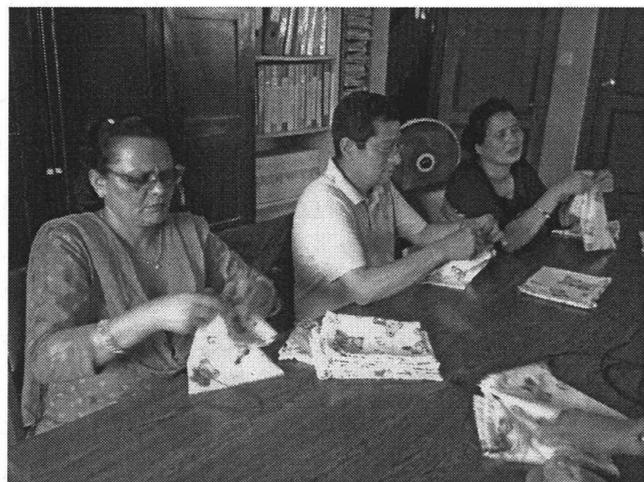
現在ネパール国内では、これまで7年間合意をみることがなかった憲法制定に関する諸問題を解決し、憲法の制定をすることが支援国から震災復興支援金の条件とされ、憲法制定の動きによりやく拍車がかかったところである。その中心である与党による強引な動きに不満を持つ勢力が行う抗議活動の活発化が新たに危惧される。今後、暴動に発展することを視野に入れながら、慎重におたすけ活動が続ける必要がある。

ネパールには「小さい苦しみを持つ人は大きい苦しみを持つ人をたすけなければならない」という言葉があるそうだ。ネパール全体に助け合いの輪が広がるよう、精力的な活動を展開しているネパール連絡所おたすけ隊に対し、国際たすけあいネットではこれからも支援を行っていく。

支援活動の様子



救援物資の整理



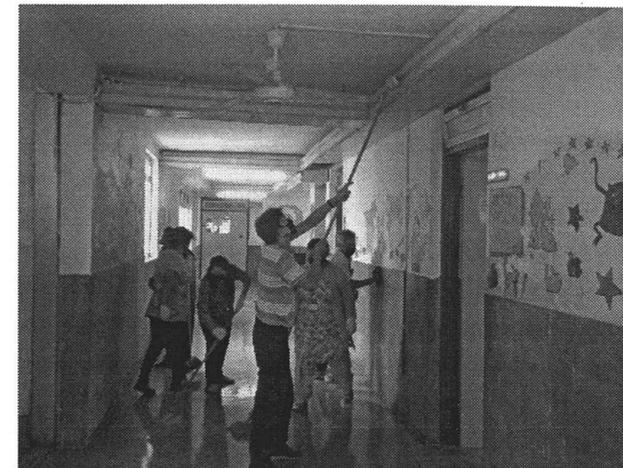
救急セットの作成



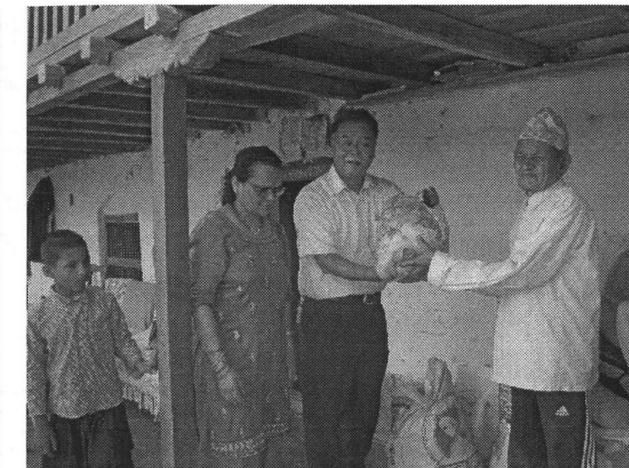
救援物資の配布



貯水タンクの設置



病院の清掃ひのきしん



救援物資の配布

第20回国際協力関係者の集い開催のお知らせ

教内の国際協力活動に携わる関係者がおちばに帰り、一堂に会する行事として恒例になった「国際協力関係者の集い」を今年も開催させていただきます。教内の国際協力活動関係者、私ども国際たすけあいネットの相互理解と発展を図るべく、活発な意見・情報の交換ができる機会とできれば幸いに存じます。

記念すべき20回目を迎えます「国際協力関係者の集い」に、一人でも多くの方に参加いただけるようご案内申し上げます。

開催日：立教178年11月25日（水）夕刻 ※詳細は後日決定
場 所：海外部
対 象：国際協力に携わっている教内関係者、団体

当ネットでは、災害などの各種支援活動に充てる「国際たすけあいネット基金」への募金を常時呼びかけています。郵便振替は下記をご参照ください。

募金受付方法（郵便振替）

加入者名：天理教国際たすけあいネット
口座番号：00920-2-152829

※当ネット事務局（海外部内）に直接届けることも可能。
担当：国際たすけあいネット事務局